

第4章 市街地開発事業

1. 土地区画整理事業

土地区画整理事業とは、無秩序な市街地化を防止し、宅地の利用増進と公共施設の整理改善を図り、健全な市街地を造成するものです。

(1) 戦災復興特別土地区画整理事業（北海道施行）

戦時中の空襲によって焼失した市街地中心部の再建を目的に、昭和20年から昭和30年までの10年間にわたって実施され、当時の町割りの姿が、現在の市街地中心部の基礎となっています。

年 月 日	内 容
S20. 12. 27	区域計画決定の告示 60.5ha
S 22. 5. 5	設計の概要の認可 60.5ha
S 24. 2. 18	換地予定地の指定
S 28. 3. 31	事業竣工 60.5ha
S 29. 10. 2	換地処分
S 30. 1. 14	登記完了
S 30. 5. 31	精算完了

(2) 花咲港西土地区画整理事業

昭和 48 年、水産加工場などの企業進出に伴い、公共施設の整備と健全な市街地を造成するため土地区画整理事業を導入し、昭和 49 年に着手しました。

しかし、昭和 48 年のオイルショックによる景気低迷に引き続き、昭和 52 年の漁業専管水域 200 カイリの設定は、水産業を基幹産業とする本市にとって死活問題ともいえる壊滅的な打撃をもたらし、大幅な「減船」を余儀なくするものでした。これに伴い、大手水産会社の撤退が相次ぎ、市内はもとより花咲港地区の人口も大幅に減少し、宅地需要も無くなるなど、事業効果が期待できないことから、昭和 55 年に建設省と協議のうえ事業を休止しました。

その後も状況好転のきざしは見えず事業継続が困難な情勢から、平成 6 年に事業中止に向けた協議を進め、休止以来 18 年を経て平成 11 年 3 月に中止届けを提出し事業が終了しました。

告示年月日	告 示 番 号	内 容
昭 48. 4. 7	道告示第 849 号	区画計画決定の告示 29.9ha
昭 49. 4. 16	道宅地第 25 号	設計の概要の認可 29.9ha
昭 50. 9. 23	道告示第 3156 号	区域計画変更 79.0ha
昭 51. 12. 21	道告示第 4049 号	区域計画変更 78.6ha
昭 52. 9. 2	道宅地第 117 号	設計の概要の認可変更 62.1ha
昭 56. 10. 22	道宅地第 119 号	設計の概要の認可変更 59.0ha
平 11. 3. 5		事業中止届の提出